

第1節 平成23年和歌山県産業連関表の概要

1 解説

平成23年和歌山県産業連関表は、平成23年1月から12月の1年間に県内において行われた様々な産業間の取引を一つの表にまとめたもので、県内における財・サービスの流れの全貌を把握することができます。下に掲載している3部門生産者価格評価表は、各産業を3部門に統合し全体像を解りやすく示したものです。

表をタテ方向に見ると、財・サービスの県内生産額と、各産業がその生産物を作るために、どの産業の生産物をどれだけ購入（投入）したか、また労働費用や営業余剰などの費用構成がどうなっているのかを示しています。一方、表をヨコ方向に見ると、各産業の生産物及び移輸入品が各産業あるいは最終需要部門にどれだけ販売（産出）されたかという販路構成を示しています。このことから、産業連関表は「投入産出表」（Input-Output Tables、略してI-O表）とも呼ばれています。

利用方法としては、表をそのまま読み取るだけで県内の産業構造や産業相互間の依存関係など、県内経済の構造を把握・分析することができます。また、表から得られる各種係数表を使用することにより、経済の将来予測や経済施策の波及効果測定等、多様な分析を行うことが可能となります。

なお、本書中の図表や解説につきましては、場合によって事務用品と分類不明を除いておりますのでご了承願います。

平成23年 和歌山県産業連関表（3部門）統合表

(百万円)

需要部門 供給部門	需要									(総供給)		
	中間需要				最終需要				(総需要) 需要合計	[控除] 移輸入	県内生産額	
	第1次産業	第2次産業	第3次産業	中間需要計	消費	投資	移輸出	最終需要計				
中間投入												
第1次産業	9,882	43,209	8,622	61,713	23,391	4,570	103,415	131,417	193,130	-52,548	140,582	
第2次産業	27,737	2,059,015	428,047	2,514,799	445,387	610,288	2,277,371	3,342,349	5,857,148	-2,154,006	3,703,142	
第3次産業	23,687	551,575	935,151	1,510,413	2,430,631	101,750	325,356	2,857,742	4,368,155	-891,940	3,476,215	
中間投入計	61,306	2,653,799	1,371,820	4,086,925	2,899,409	716,608	2,706,142	6,331,508	10,418,433	-3,098,494	7,319,939	
粗付加価値												
雇用者所得	15,282	358,914	1,070,449	1,444,645								
営業余剰	34,926	265,809	428,002	728,737								
資本減耗引当	22,354	173,363	467,829	663,546								
その他	6,714	251,257	138,115	396,086								
粗付加価値計	79,276	1,049,343	2,104,395	3,233,014								
県内生産額	140,582	3,703,142	3,476,215	7,319,939								

(注) 最終需要計には、調整項の額も含まれているため、内訳の合計と一致しません。